

カリキュラム 高専と連携した教育カリキュラム 学部から大学院博士前期課程までの一貫教育

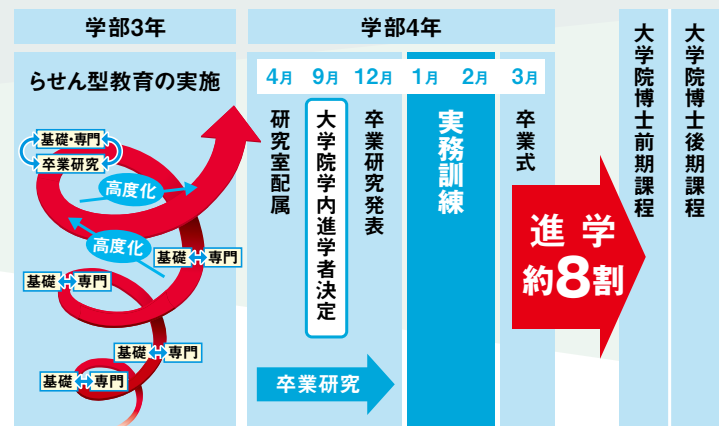
充実した少人数教育

● 教員に対し学生数が少ない密度の高い教育。



らせん型教育

● 学部3年次には高専で固めた基礎と応用実例を違った観点から学び、基礎を広げ、より専門的な学習を可能にします。



大学院進学率約8割

● 大学院博士前期課程の定員を多く設定。学部4年次9月には進学が決定するため、継続した研究に早くから取り組みます。

正課としての実務訓練

(企業内実習)

- 卒業研究発表(学部4年次12月)後、1月から実務訓練で企業内実習を行います。
- 社会人としての基礎力、実践的技術感覚を身につけます。



海外大学との交流プログラム

- 協定校は世界に31カ国93大学。
- 英語が苦手な学生への「サポートプログラム」も充実。

学生生活

学生時代だからこそその体験、研究・サークル活動に120%打ち込める!

高専生のための万全のサポート体制

多彩な学生支援制度

年間延べ800名の実績あり!

推薦入試で入学の場合

● 高専での成績、人物が優秀な入学者(希望者)に対し、本学独自の給付奨学金を支給

ここに注目!

入学後も頑張ればサポートが受けられます! ● 入学後の成績によって経済支援が受けられます。

入居許可率約89% (2019年度4月入居者)

学生宿舍

全国から集まる学生の一人暮らしを応援!

全室南向き一人部屋のA~F棟、日本人と留学生が5人で1ユニットとなり生活を共にするシェアハウス型宿舍のG棟(TUTグローバルハウス)があります。



キレイな個室で快適に過ごせます!

トピックス

苦手な英語を克服しよう!

英語学習アドバイザー

TOEIC対策講座、ランチャタイム英会話、自習会などを随時開催。アドバイザーが、英語学習に関わる様々な相談に対応します。



就職

「就きたい仕事」への道が拓けます!!
優良企業に内定続々!

大学院の就職率100%

実践的な技術者教育、次世代リーダーの育成、世界レベルの高い技術力が産業界に認められ、学内企業説明会には優良企業約400社が集結するほど。企業だけでなく、高専への就職サポートも万全。

主な就職先

IHI、アイシン・エィ・ダブリュ、アイシン精機、愛知県庁、NTTドコモ、オムロン、鹿島建設、川崎重工業、キヤノン、神戸製鋼所、国土交通省、JFEスチール、清水建設、スズキ、SUBARU、住友金属鉱山、セイコーエプソン、大成建設、中部電力、テルモ、デンソー、東海旅客鉄道、東レ、トヨタ自動車、豊田自動織機、西日本旅客鉄道、日亜化学工業、ニデック、日本製鉄、パナソニック、東日本旅客鉄道、日立製作所、ファナック、本田技研工業、マツダ、三菱ケミカル、三菱自動車工業、三菱電機、メタウォーター、ヤマハ 他多数

OBから一言

FRP(繊維強化プラスチック)を用いた部品の生産準備の仕事をしています。学生時代に自動車研究部でフォーミュラ製作を経験したことは就職活動でも強いアピールポイントになりました。実際にトヨタの社員の方と交流を持つ機会もあり、仕事についてイメージすることができました。



中学からの夢だったトヨタに就職できました!

トヨタ自動車株式会社
西野 康平さん (和歌山工業高等専門学校)
2016年3月 機械工学専攻 博士前期 修了

OBから一言

法人企業向け国際データ回線の保守・運用を行っています。海外のお客様との業務は英語で行われますが、学生時代に、国際交流プログラムで行ったインドネシアでの10日間や、実務訓練としてフランスの大学で共同研究を行った経験など、大学で得たものが今に活きていると感じます。



大学で鍛えた英語力が役立っています!

ソフトバンク株式会社
新海 崇徳さん (苫小牧工業高等専門学校)
2016年3月 情報・知能工学専攻 博士前期 修了

おしらせ

大学見学

本学への進学に関心のある高専生・高校生を対象にした大学見学を実施しています。

大学見学の一例

- 本学教員による概要・入試説明
- それぞれの研究室でおこなわれている研究についての説明や、デモンストレーションの見学
- 学食体験

体験実習について

- 大学見学とは別に、高専生(本科4、5年生および専攻科生)を対象とした教育研究分野の実習を行っています。夏休み期間中に本学の研究室で研究活動を体験してみませんか?
※詳細はお問い合わせください



豊橋技術科学大学 高専連携推進センター 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL 0532-81-5116 E-mail k-center@kousen.tut.ac.jp

URL https://www.kousen.tut.ac.jp/



作成日:2020年3月

高専生・保護者の皆さまへ
豊橋技術科学大学は

高専生のための国立大学です!

- 機械工学課程・専攻
- 電気・電子情報工学課程・専攻
- 情報・知能工学課程・専攻
- 応用化学・生命工学課程・専攻
- 建築・都市システム学課程・専攻



国立大学法人
豊橋技術科学大学

興味のある分野をとことん
追求できる充実した環境です。



水野 樹央さん

機械工学専攻 博士前期2年
茨城工業高等専門学校出身

豊橋技科大を選んだ理由は？

工学部としては比較規模が大きく、学生一人あたりの予算が多いことや博士課程への進学がしやすいことなど、研究のための環境が十分に整っているところが一番の理由です。知りたい、解明したい分野の研究を思う存分行いたいと考える自分にとって、ぴったりの大学だと思い編入しました。また、独自の奨学金や学生宿舎など経済面の手厚い支援があることも魅力の一つです。

大学ではどのような勉強・研究をしていますか？

現在は「火災旋風」と呼ばれる大規模火災時に発生する竜巻状の火災に関する研究を行っています。実験や解析結果の考察などはとても大変ですが、同時にやりがいも感じています。また、学会での研究発表や、NHK等メディアへの撮影協力などにも携わっています。

大学生活で力を入れていることは何ですか？

私は高専の時から続けている弓道部に所属し、日々稽古に励んでいます。学部生の時は部長を務め、部の運営全般や、合宿の企画、大会への参加など様々なことに挑戦しました。研究の息抜きとして、和気あいあいとした雰囲気の中、仲間たちと楽しく活動しています。

グローバルな活躍を目指し、
英語力を鍛えています。



田中 哉太さん

電気・電子情報工学課程 学部4年
長野工業高等専門学校出身

豊橋技科大の良いところ、 自慢できることは何ですか？

私はカメラに興味があり、今の研究室ではイメージセンサの研究をしています。学内にある半導体工場は、半導体デバイスを作るための設備一式を備えた世界でも有数の施設です。研究でそれを利用できる環境は、他大学にない大きな利点だと思います。

大学生活で力を入れていることは何ですか？

私はGACコースという国際的なリーダー育成を目的とした新設コースの第一期生なので、英語力向上に力を入れています。国際理解を深める英語プレゼンの場で議論をしたり、スイスの大学での実務訓練にそなえて最近では、英作文能力、英語でのプレゼン技術を学内の英語学習アドバイザーの力を借りて日々鍛えています。

高専生のうちにやっておくべきことなど、 アドバイスがあれば教えてください。

大学には魅力的な留学生がたくさんいるのですが「英語ができたら話しかけるのにな…」とぼやいている技科大生が多数存在しています。いざという時のため、英語を勉強しましょう。という冗談はさておき、研究では英語論文を読む機会が多く、苦手意識があると苦勞するので、英語は日頃から勉強しておくことをおすすめします。

「やりたい」を支えてくれる
万全のサポート体制が魅力。



岸上 翔さん

情報・知能工学課程 学部4年
阿南工業高等専門学校出身

豊橋技科大を選んだ理由は？

高専生の時に参加したオープンキャンパスで、研究室の新しい技術に触れ、大学の技術力や社会への貢献度を知ったことが編入のきっかけでした。他にも「やりたいことに集中できる環境」にも魅力を感じました。勉学では専門性に優れた先生や友達が、英語力向上には留学生との交流や留学の支援が、サークル活動には仲間と設備が、自分を支えてくれます。万全のサポート体制が整っているので、行動力次第で、どんな自分にも成長できる大学だと断言できます。

大学ではどのような勉強・研究をしていますか？

入学前から興味があった「眼と脳」について研究しています。将来は、研究・開発業に携わりたいと考えており、そのために、所属している研究室で研究力と行動力を磨き、グローバルに活動できる人材を目指し、英語力向上にも力を入れています。

高専生のうちにやっておくべきことなど、 アドバイスがあれば教えてください。

「これだけは他の人に負けない」という得意分野を持っていると、自信につながり、コミュニティの輪が広がることで、学生生活だけでなく、就職活動にも役立つのではないのでしょうか。

実務訓練・学会発表を通して、
実践力が身につきました。



松房 利恵さん

応用化学・生命工学課程 学部4年
和歌山工業高等専門学校出身

豊橋技科大を選んだ理由は？

高専からの編入生に特化したカリキュラムが組まれているため、効率よく知識を深められると思い志望しました。現在はラットを用いて自閉症や、ADHDなどの発達障害についての研究をしています。2カ月間にわたるマレーシアでの実務訓練や、学会に参加する機会も多くあり、より深く実践的な知識が得られていると感じます。

学内でよく利用する施設はありますか？

リニューアルした図書館は、友達と集まって課題をしたり、サークルの話し合いをしたりとよく利用しています。一人で集中して勉強したい時は個室も利用でき、疑問点はすぐに本で調べられるので自習にも最適です。私は学生宿舎に入っていますが、お風呂もキッチンも自室にあり暮らしやすく、セキュリティ面もしっかりしているため、安心・快適な住み心地です。

大学生活で力を入れていることは何ですか？

サークル活動です。吹奏楽団に所属しており、定期演奏会では実行委員長として、演奏会の構成・演出を団員と考え、運営も全て行ったので、観客の方々から高評価を頂いた時は、とても嬉しかったです。

地域と連携した活動で
「まちづくり」の喜びを実感。



長井 菊野さん

建築・都市システム学専攻 博士前期2年
小山工業高等専門学校出身

豊橋技科大を選んだ理由は？

建築計画を深く学ぶため編入しました。技科大では、大学院進学を前提とした「らせん型教育」のおかげで、高専での学びを強化し、実務訓練や大学院ではそれを応用した実践的な活動ができます。また、地域との連携も強く、学生を応援してくれている印象があります。

大学ではどのような勉強・研究をしていますか？

起業を支援するコワーキングスペースの設計を行っています。メンバーと協力し、どんな素材を使ったら心地よく過ごせるかを考え、外部見学や模型・CGを駆使して、内装の選定やデザイン性に配慮した什器の設計・製作も行いました。自分たちが設計した空間を実際に利用されている光景を見ることができ、感動もひとしおでした。

大学生活で力を入れていることは何ですか？

建築の知見を活かし、市のまちづくりに取り組んでいます。子供を対象としたイベントでは、初めは緊張していた子供たちも、徐々に自分から宿題や工作に挑戦し始め、現在では安心して過ごせる場所として機能しています。家や学校以外での、子供たちの居場所つくりに関われたことは、建築学生として大変光栄に思います。

文化の違いを楽しみ
宿舎での生活を満喫しています。



SYAHIRAH BINTI YUSOFさん

建築・都市システム学課程 学部4年
徳山工業高等専門学校出身

豊橋技科大を選んだ理由は？

高専時代に豊橋技科大からの説明会があり、そこでこの大学を知りました。その中でも、新設されたグローバル技術科学アーキテクト養成コース(GAC)に興味をわき、受験を決めました。国際交流が盛んに行われていること、また、実務訓練などの他大学では経験できない教育カリキュラムも決め手でした。

大学ではどのような勉強・研究をしていますか？

建築分野で意匠設計の研究をしています。「TYACC(チャック)」という建築サークルに所属しており、建築のコンペに参加するなど、建築を通して様々な活動を行っています。将来は日本の建築業界で就職し、多くの経験を積みながら、日本の建築技術を世界に広めていきたいです。

学生宿舎での生活はどうか？

現在、シェアハウスをコンセプトに建てられた「TUTグローバルハウス」に日本人学生、留学生と一緒に住んでいます。世界各国から様々な学生が集まるので、お互いの文化の違いを理解しながらコミュニケーションを取ることが大切です。大学生活だけでは体験できない日常生活の交流ができ、とても楽しく過ごしています。